

小瀬川の治水と環境整備

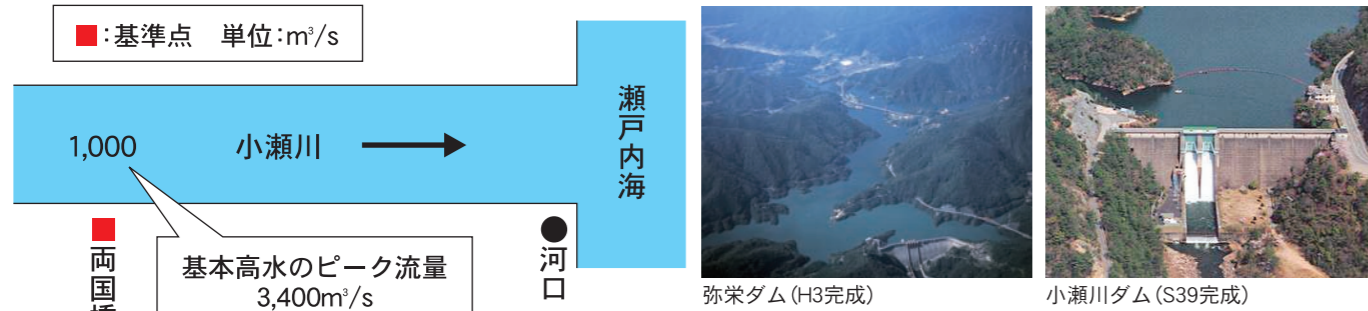
小瀬川水系河川整備基本方針

小瀬川の長期的な目標を定める小瀬川水系河川整備基本方針を平成20年3月26日付けで策定しました。
小瀬川水系河川整備基本方針は、小瀬川の将来あるべき姿、どの様に整備するべきかに関する基本事項(方針)を「治水(洪水対策)」、「利水(水の利用)」、「環境(自然への配慮)」の3つの視点から定めています。

治水(治水対策):災害発生の防止または軽減

小瀬川水系工事实施基本計画策定(S49)後に計画を変更するような洪水は発生していませんが、災害発生の防止または軽減のために、既往洪水による検証等総合的に勘案し、計画高水流量を基準地点両国橋で1,000m³/sに設定し、基本高水流量と計画高水流量の差分については、既存の洪水調節施設により対応することとしています。また、小瀬川の豊かな自然環境に配慮しながら、堤防の新設や質的強化、河道掘削、護岸整備等を実施します。

【既存の洪水調節施設】



利水(水の利用):河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

河川水の利用については、戦後の高度経済成長期の工場進出により、広島・山口両県の間で水利権が対立し、昭和33年に建設大臣により水利調整が行われた歴史がありました。また、流域を越えて広島県西部や山口県南東部の周防大島まで広域的に工業用水・上水道用水が供給されています。今後も広域的かつ合理的な水利用を図るなど、関係機関と連携して必要な流量の確保に努めます。

基準地点防塵における流水の正常な機能を維持するために必要な流量を概ね7m³/sとし、流水の適正な管理、円滑な水利使用、河川環境の保全等に取り組めます。



環境(自然への配慮):河川環境の整備と保全

小瀬川と流域の人々との歴史的・文化的なつながりを踏まえ、人々にうるおいとやすらぎを感じさせる豊かな自然と緑が織りなす良好な河川景観、清らかな水の流れの保全を図るとともに、多様な動植物が生息・生育・繁殖する豊かな自然環境を次世代に引き継ぐよう努めます。



干潮時に出現する河口干潟



子どもたちの水遊び

小瀬川の治水と弥栄ダムの効果

小瀬川における過去の洪水は、主として台風起因のものが多く発生しています。昭和26年のルース台風以降は、河川整備の進展や小瀬川ダムおよび弥栄ダムの完成により大きな災害は発生していませんが、小規模の浸水被害は頻発しており、さらなる対策が望まれています。



平成17年9月台風14号による支川玖島川の被災状況



昭和26年10月ルース台風による浸水(大竹市西栄)

小瀬川災害年表

年月日	ピーク流量(m ³ /s)	原因
昭和20年 9月17日	1,340	枕崎台風
昭和25年 9月13日	2,000	キジヤ台風
昭和26年10月14日	2,100	ルース台風
昭和44年 7月	980	梅雨前線
昭和45年 8月15日	930	台風9号
昭和49年 9月 8日	1,140	台風18号
昭和51年 9月13日	1,670	台風17号
平成17年 9月 6日	2,750	台風14号

平成3年4月 弥栄ダム完成(ピーク流量:ダム及び氾濫が無かった場合の両国橋地点の推算値)

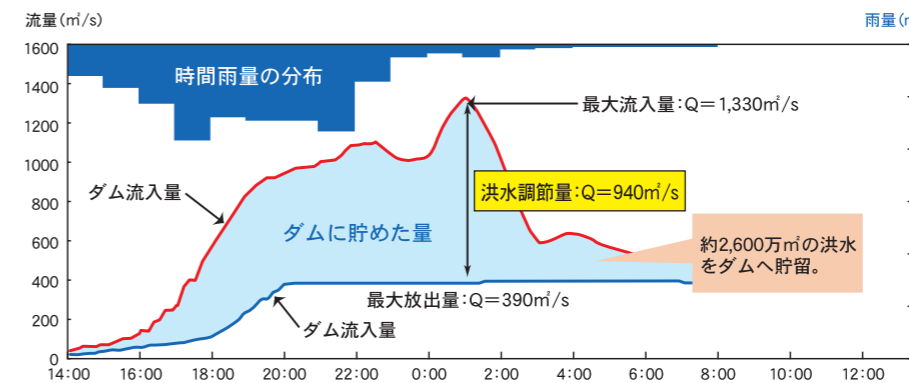
注:昭和44年以前(両国橋流量観測前)は「流出計算による推算値」、昭和44年以降は「ダム・氾濫戻しの推算値」。

弥栄ダムの効果

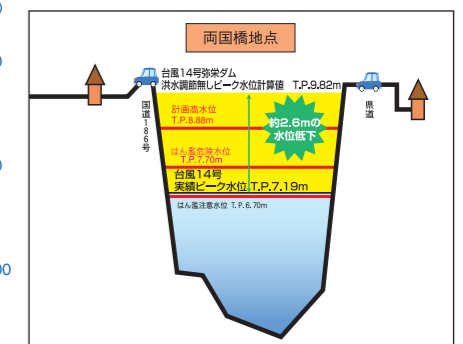
平成17年9月の台風14号は、小瀬川でルース台風(昭和26年)に次ぐ戦後2番目に大きな洪水となりました。しかし、平成3年に完成した弥栄ダムにより、ダム地点流入量の約7割(940m³/s)をカットし、下流域の洪水氾濫を防止することができました。

もし、弥栄ダムがなければ、両国橋地点で実際より2.63mも高い水位となるなど、各所で計画高水位を上回る洪水となり、河口部の大竹市等を中心に約2,800戸、約250haが浸水被害を受けたものと推定されます。

弥栄ダムの操作状況(H17.9.6~7)



両国橋地点における水位低減効果



両国橋



岩国市小瀬地区および大竹市木野地区にかかる両国橋(広島・山口両県管理)を架け替え、川の断面を広くし堤防を築くことにより、洪水をスムーズに流します。

小瀬川の環境整備

小瀬川下流部では、堤防上を散歩等に利用する人が多く見られますが、車が行き交う狭い兼用道路で大変危険な状況でした。これを改善するため元町・和木箇所において親水性に配慮した低水部散策路を整備しましたが、今後、大竹市新町箇所について同様に整備を進め、中市堰~大和橋~栄橋間を「小瀬川周遊回廊」として結び計画を立てています。

中流部の狭い山間の住民にとって、小瀬川の広い寄州はひな流し等の地域活動や環境学習の場として貴重な空間です。中津原水辺の楽校に続き、穂仁原水辺の楽校を整備しました。



和木環境護岸



穂仁原水辺の楽校